

第131回 岐阜市管内景況調査報告書(平成25年1～3月期)

【調査要領】

- 1 対象期間 平成25年1～3月、平成25年4～3月期の見通し(平成25年3月1日時点の調査)
- 2 調査方法 岐阜商工会議所経営支援員の実訪による
- 3 調査対象 岐阜市内の中小企業106社(回答数97社、回収率91.5%)
- 4 D I 値 景気動向を現す景気早見表(「増加・好転」－「減少・悪化」)

管内景況の概要(業種全体)

今期(平成25年1～3月期)の管内中小企業の景況を見ると、在庫DI・経常利益DIでマイナス幅が拡大したが他の項目はマイナス幅が縮小した。

来期(平成25年4～6月期)の景況予想は、資金繰りDI・従業員DIでマイナス幅が拡大するが、他すべての項目でマイナス幅が縮小する見通し。

全業種

	(前年同期比)					
	業況判断	売上額	在庫	経常利益	資金繰り	従業員
24年 1～3実績	△ 43.2	△ 43.5	△ 32.8	△ 53.1	△ 37.9	△ 6.1
4～6実績	△ 24.8	△ 24.8	△ 25.0	△ 41.8	△ 39.2	△ 3.5
7～9実績	△ 35.1	△ 37.0	△ 41.0	△ 42.4	△ 27.9	△ 4.6
10～12実績	△ 40.2	△ 45.3	△ 22.0	△ 40.0	△ 30.5	△ 5.3
25年 1～3実績	△ 37.6	△ 36.5	△ 26.8	△ 43.1	△ 28.3	△ 4.9
4～6予想	△ 36.6	△ 27.1	△ 25.4	△ 36.6	△ 30.8	△ 8.6

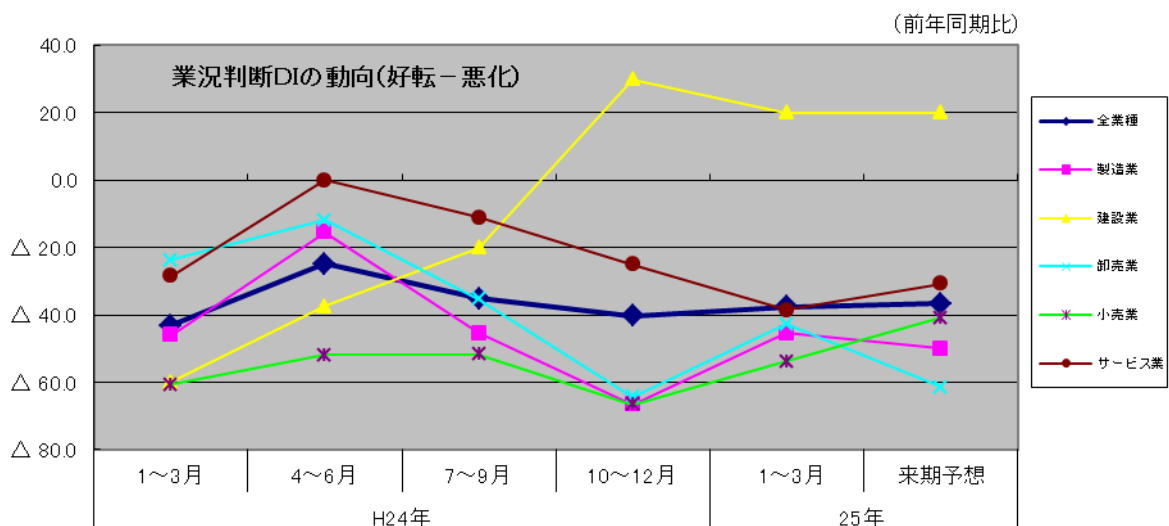
1. 業況

全業種のDI値は、△37.6と前期(△40.2)に比べると2.6ポイントマイナス幅が縮小した。来期は、今期よりマイナス幅が縮小すると予想される。

業種別でみると、建設業・サービス業でマイナス幅が拡大した。

来期は卸売業・製造業のマイナス幅が拡大するが、他の項目でマイナス幅が縮小する見通し。

	業況判断DI(「好転」-「悪化」)				(前年同期比)	
	H24年 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	25年 1～3月	来期予想
全業種	△ 43.2	△ 24.8	△ 35.1	△ 40.2	△ 37.6	△ 36.6
製造業	△ 46.1	△ 15.4	△ 45.4	△ 66.7	△ 45.4	△ 50.0
建設業	△ 60.0	△ 37.5	△ 20.0	30.0	20.0	20.0
卸売業	△ 23.6	△ 11.8	△ 35.3	△ 64.3	△ 42.8	△ 61.5
小売業	△ 60.8	△ 52.0	△ 51.7	△ 66.7	△ 53.9	△ 40.8
サービス業	△ 28.5	0.0	△ 11.1	△ 25.0	△ 38.5	△ 30.8



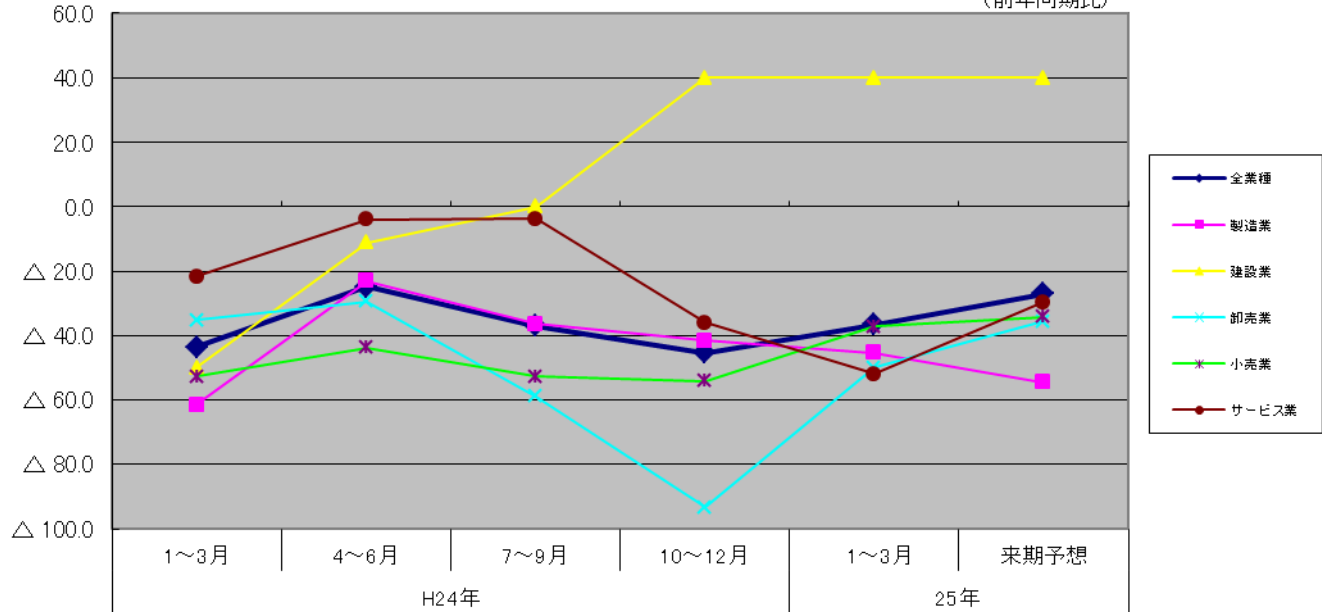
2. 売上(加工)額

全業種の DI 値は、△36.5と前期(△45.3)と8.8ポイントマイナス幅が縮小した。来期は、今期よりマイナス幅が縮小する見通し。

業種別では、卸売業・小売業でマイナス幅が縮小し大幅な改善がみられた。来期は卸売業・小売業・サービス業が改善する見通し。

	売上額DI(「増加」-「減少」)				(前年同期比)	
	H24年				25年	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	来期予想
全業種	△ 43.5	△ 24.8	△ 37.0	△ 45.3	△ 36.5	△ 27.1
製造業	△ 61.5	△ 23.1	△ 36.3	△ 41.6	△ 45.4	△ 54.5
建設業	△ 50.0	△ 11.1	0.0	40.0	40.0	40.0
卸売業	△ 35.3	△ 29.4	△ 58.8	△ 93.3	△ 50.0	△ 35.7
小売業	△ 52.8	△ 43.8	△ 52.8	△ 54.2	△ 37.2	△ 34.3
サービス業	△ 21.7	△ 3.9	△ 3.7	△ 36.0	△ 51.9	△ 29.6

売上額DIの動向(「増加」-「減少」)



3. 採算(経常利益)

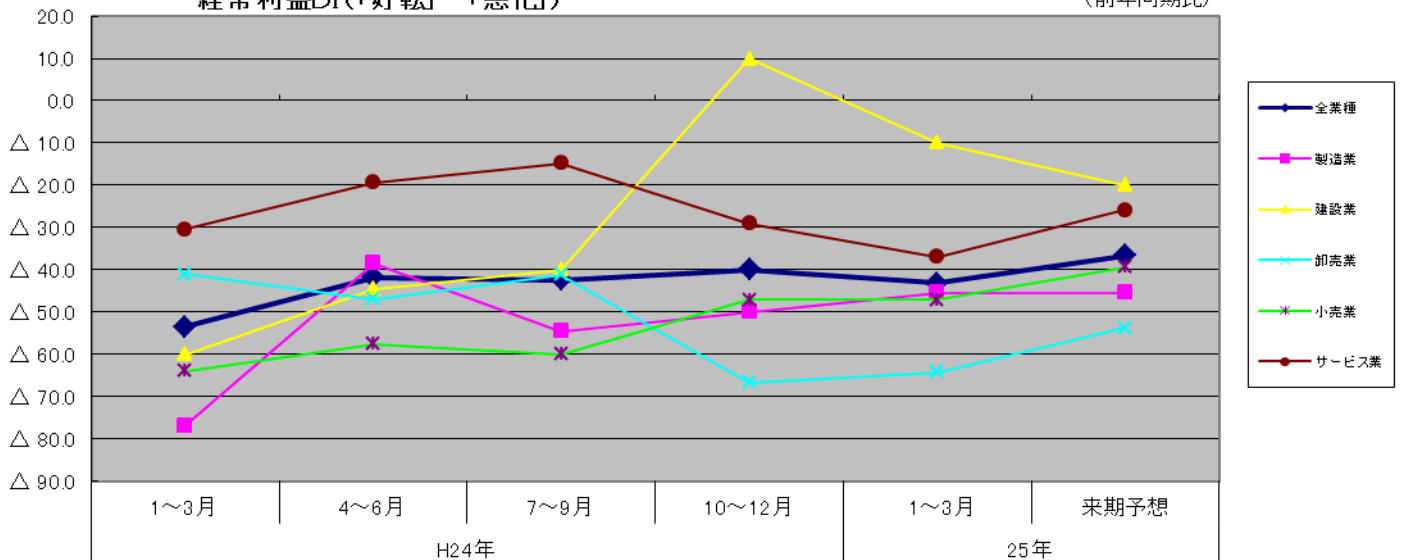
全業種の DI 値は、△43.1と前期(△40.0)に比べ3.1ポイントマイナス幅が拡大した。来期は、マイナス幅が縮小すると予想される。

業種別では、サービス業でマイナス幅が拡大し悪化した。来期は、卸売業・小売業・サービス業が改善する見通し。

	経常利益DI(「好転」-「悪化」)				(前年同期比)	
	H24年				25年	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	来期予想
全業種	△ 53.5	△ 41.8	△ 42.4	△ 40.0	△ 43.1	△ 36.6
製造業	△ 76.9	△ 38.5	△ 54.5	△ 50.0	△ 45.4	△ 45.5
建設業	△ 60.0	△ 44.5	△ 40.0	10.0	△ 10.0	△ 20.0
卸売業	△ 41.1	△ 47.0	△ 41.2	△ 66.7	△ 64.3	△ 53.8
小売業	△ 63.9	△ 57.6	△ 60.0	△ 47.1	△ 47.1	△ 39.4
サービス業	△ 30.4	△ 19.3	△ 14.8	△ 29.1	△ 37.0	△ 25.9

経常利益DI(「好転」-「悪化」)

(前年同期比)

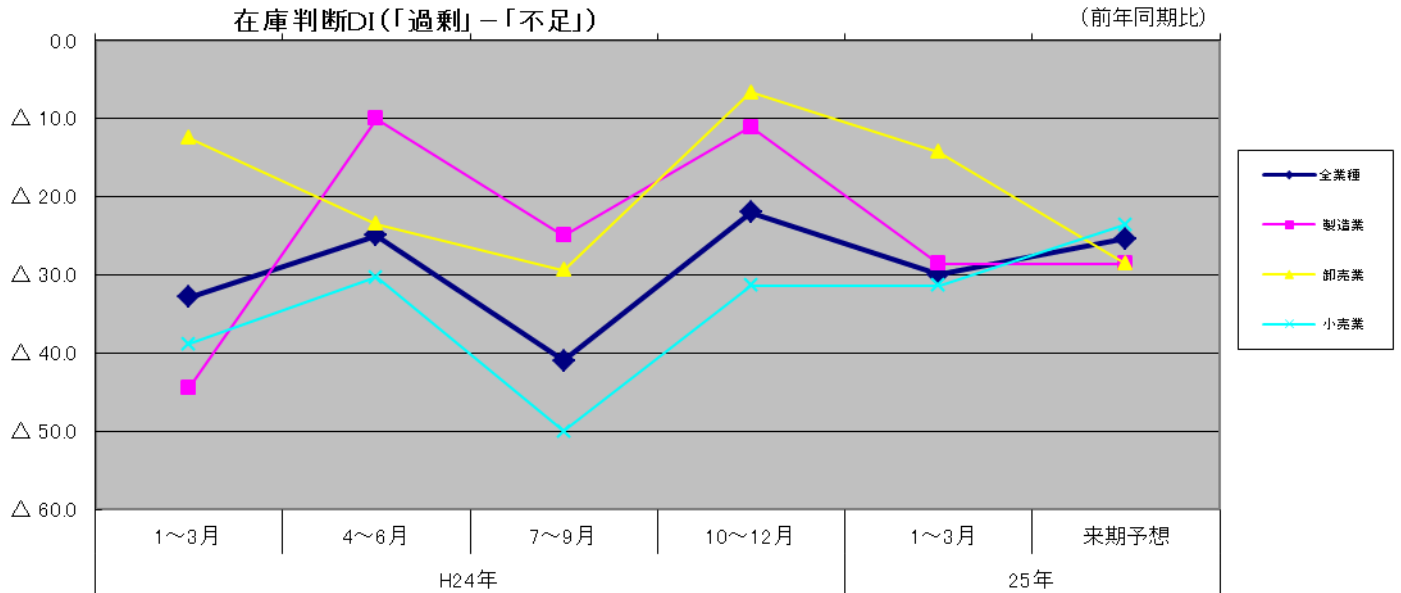


4. 製品・商品の在庫

全業種の DI 値は、△30.0と前期(△22.0)に比べマイナス幅が8ポイント拡大した。来期はマイナス幅が縮小すると予想される。

業種別では、製造業・卸売業でマイナス幅が拡大した。来期は卸売業でマイナス幅が拡大する見通し。

	在庫判断DI (「過剰」-「不足」)				(前年同期比)	
	H24年				25年	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	来期予想
全業種	△ 32.8	△ 25.0	△ 41.0	△ 22.0	△ 30.0	△ 25.4
製造業	△ 44.4	△ 10.0	△ 25.0	△ 11.1	△ 28.6	△ 28.6
卸売業	△ 12.5	△ 23.5	△ 29.4	△ 6.7	△ 14.3	△ 28.6
小売業	△ 38.8	△ 30.3	△ 50.0	△ 31.4	△ 31.4	△ 23.6



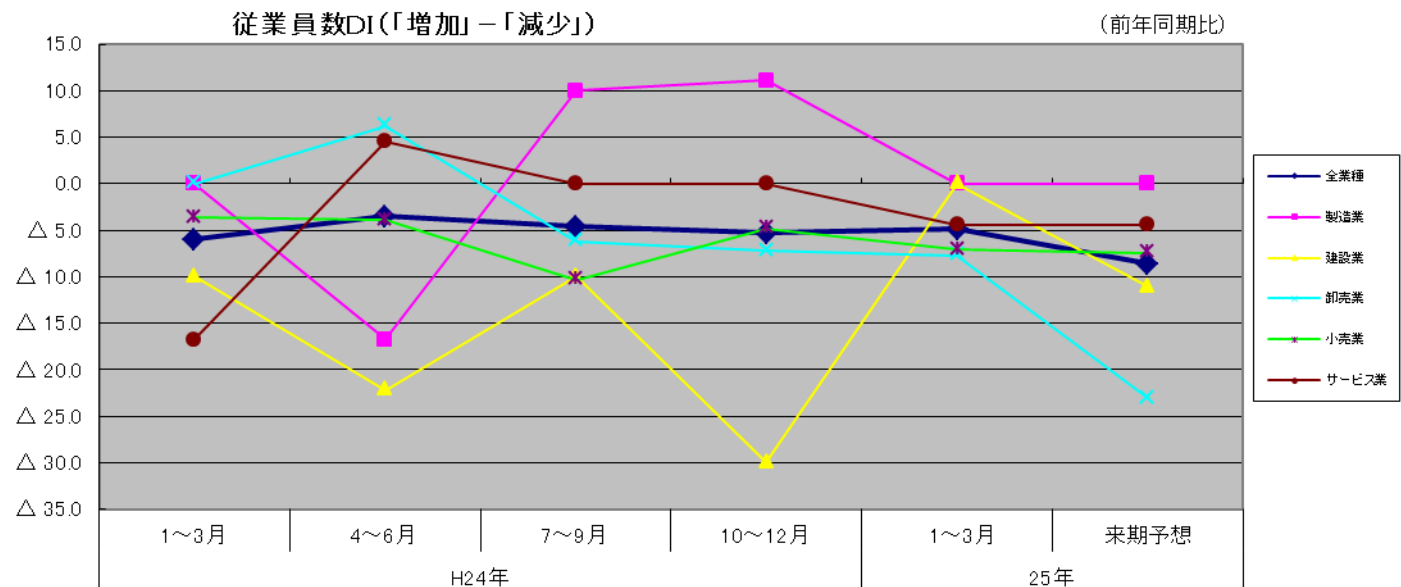
5. 従業員数 (臨時・パート含む)

全業種の DI 値は、△4.9と前期(△5.3)に比べマイナス幅が縮小した。

業種別では、卸売業・小売業・サービス業でマイナス幅が拡大した。

来期は建設業・卸売業で、大幅にマイナス幅が拡大する見通し。

	従業員数DI (「増加」-「減少」)				(前年同期比)	
	H24年				25年	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	来期予想
全業種	△ 6.0	△ 3.5	△ 4.6	△ 5.3	△ 4.9	△ 8.6
製造業	0.0	△ 16.7	10.0	11.1	0.0	0.0
建設業	△ 10.0	△ 22.2	△ 10.0	△ 30.0	0.0	△ 11.1
卸売業	0.0	6.2	△ 6.2	△ 7.2	△ 7.7	△ 23.1
小売業	△ 3.6	△ 3.9	△ 10.3	△ 4.8	△ 7.1	△ 7.4
サービス業	△ 16.7	4.6	0.0	0.0	△ 4.4	△ 4.4



6. 資金繰り

全業種の DI 値は、△30.5と前期(△27.9)に比べ2.6ポイントマイナス幅が拡大した。来期は、今期よりマイナス幅が縮小する見通し。

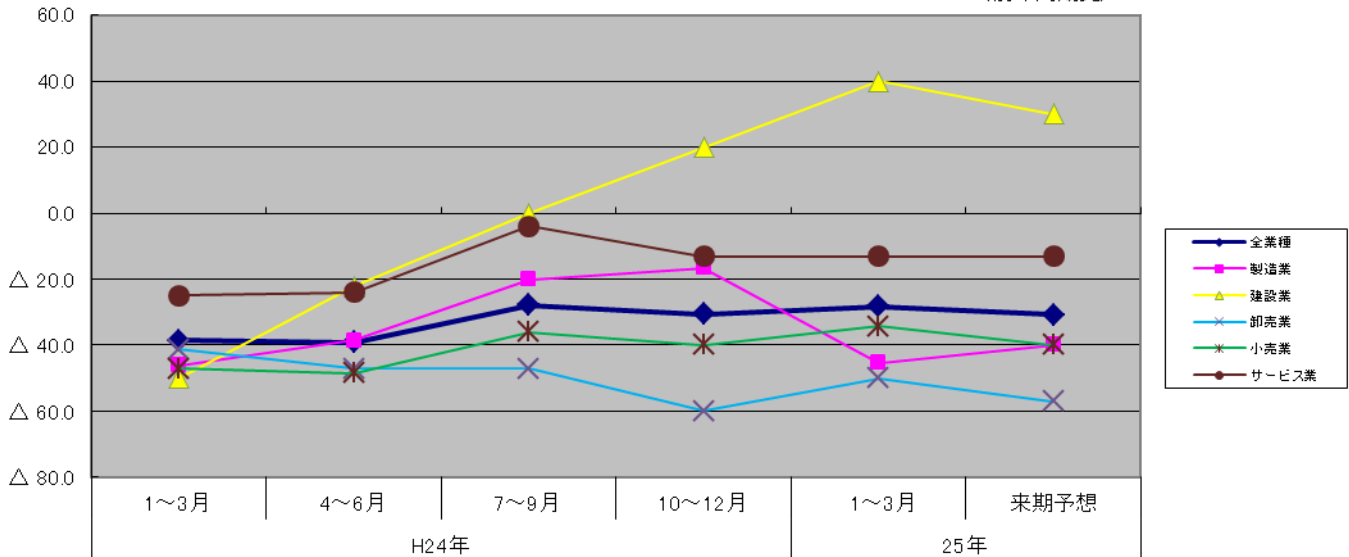
業種別では製造業と建設業においてマイナス幅が縮小し改善がみられた。来期はサービス業を除く全ての項目で改善する見通し。特に建設業は更に好転する

見通し。

	資金繰りDI(「好転」-「悪化」)				(前年同期比)	
	H24年				25年	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	来期予想
全業種	△ 38.6	△ 39.2	△ 27.9	△ 30.5	△ 28.3	△ 30.8
製造業	△ 46.1	△ 38.5	△ 20.0	△ 16.6	△ 45.4	△ 40.0
建設業	△ 50.0	△ 22.2	0.0	20.0	40.0	30.0
卸売業	△ 41.2	△ 47.1	△ 47.1	△ 60.0	△ 50.0	△ 57.1
小売業	△ 47.2	△ 48.5	△ 36.1	△ 40.0	△ 34.3	△ 40.0
サービス業	△ 25.0	△ 24.0	△ 4.0	△ 13.1	△ 13.1	△ 13.1

資金繰りDI(「好転」-「悪化」)

(前年同期比)



7. 経営上の問題点

前回の調査同様、卸売業・小売業・サービス業の業種で「需要の停滞」が上位に入っている。建設業においては「請負単価の低下・上昇難」が1位に上げられている。徐々に改善していることが見受けられるが、まだまだ取引条件が悪化していると思われる。いまだ中間層の所得は伸びず、投資や雇用の動きも鈍い。継続的な成長への手応えはまだ弱いと感じられる。

上段:今回

下段:前回

	今期直面している経営上の問題点				
	1位(%)	2位(%)	3位(%)	4位(%)	5位(%)
製造業	製品単価の上昇難	原材料価格の上昇	需要の停滞	新規参入業者の増加	取引条件の悪化
	31.8	18.2	18.2	9.1	9.1
建設業	請負単価の低下・上昇難	民間需要の停滞	人件・材料費以外経費増加	材料価格の上昇	取引条件の悪化
	20.0	16.7	13.3	10.0	6.7
卸売業	需要の停滞	販売単価の低下上昇難	仕入単価の上昇	人件費以外の経費増	事業資金の借入難
	26.8	12.2	12.2	7.3	7.3
小売業	需要の停滞	購買力他地域への流出	販売単価の低下上昇難	消費者ニーズの変化	仕入単価の上昇
	22.2	12.2	12.2	11.1	11.1
サービス業	需要の停滞	利用者ニーズの変化	新規参入業者の増加	利用料金の低下・上昇難	大企業進出競争の激化
	25.0	21.4	10.7	7.1	5.4